

政 濤 新 報

新聞定價 一部 五錢
 每月十五日一回發行
 廣告料 場所指定 十錢
 場所不指定 十錢
 發行所 政濤新聞社
 福島縣平町白銀町十五番地
 編輯印刷 武 藤 稔
 發行人 武 藤 稔

政黨政治の將來について 一般的考察 (一)

福島民友新聞記者

佐 藤 稔

此の原稿は本年夏頃、某雑誌の懸賞募集に刺激されて書いたもので、もとより自信がなく、他人に必讀を奨むべき成質のものではなく、またそれだけの価値もないが、我が國に於ける政黨政治が何處に行かか？と云ふ問題は近代人の腦裡に一つの謎としてひそんで居る事と思ひ、一片の参考にもなれば幸と考へて茲に發表した譯である……筆者……

緒 論

我が國に於ける政治史は秘密主義から解放主義への過程を辿り、而も急速なる發達をして來た。即ち人間の目覺に伴ふ民主主義の發達史であつて、多く依らしむべく知らしむ可らざる事を以て政治の妙諦として居た時代から、多く知らしむる事を唯一の條件とする事に變つて來たのである。それは明治の御維新を一轉換期として急轉直下の發達をつてゐるに過ぎないが、政

治史が急速に發達した事を示すと同様、政黨も亦急激にして審る變動的な發達をなして來た。明治十五年憲法發布並に議會開設論が天下の輿論を造つた際、藩閥政治に反感を抱へた在野の遠ざけられて居た事が解る。藤原氏の專制、武家政治の出現等凡て中間勢力が專制を行つて來た、此の中間勢力の如き手段に依つて政黨が漸次其の形態を強大にし、漸次其の主義政策の良否でない事は事實で、黨員自選舉が實施され、暗黒時代の幕が切り落されんとした。我が國の憲政史に新らしい一章を加へた處の普通我が國の政界に無産黨が孤

封建の夢を食つてゐた我が國が世界的に開眼してから僅か六十有餘年の間に於ける、其の發達變革は世界各國のそれと比較して實に奇蹟的であると言ひ得る。之れ要するに明治御大帝が英傑組織して、政府並に自由黨の道を、民を以つて本と爲す事、廣く會議を起し萬爾後今日に至る迄、三大政黨の對立が、立憲政治に於ても亦藩閥官僚政治等中間專制の弊に、因襲的競争の立場とが、應じ機に望み政策を變へ、現事が出る。之れ現在の政黨の勢力が永遠性を帯びるものにあらずと斷言す

如何に進むか？ 共產黨が策を遂行せんとする事が、斯うして例は度と吾人の面如何に發展するか？ 將來唯一最大の目的であるが故前に於て繰返されてあり。は斯くなるであらうと結論に、而も之れが貫徹の第一手段として所謂地盤の開拓をなした、それは今茲に説き、述べたる如く現在の政黨の明する迄もなく地盤の狭小を其の政黨の消長に直接重大なる關係を有するが爲め、其の勢力即ち既成政黨の數を殖すべく企て、過般の總選舉に於ける得票は其の勢力分野を明かに裏書きしてゐる、有権者總數九百八十六萬票の八十五二萬票であつた。治思想が一般的に普及され、今日我が國の政界に無産黨が孤

從來政治は一部特權階級の支配下におかれて居た、即ち中間專制政治であつた。之れを歴史に求めて見れば明治維新前は中間勢力の爲に、主權者と臣民の間が大を圖り其の必然的結果として對抗政黨が常に自黨以外を對抗政黨を罵倒するに至る。漸次其の形態を強大にし、漸次其の主義政策の良否でない事は事實で、黨員自選舉が實施され、暗黒時代の幕が切り落されんとした。我が國の憲政史に新らしい一章を加へた處の普通我が國の政界に無産黨が孤

如何に進むか？ 共產黨が策を遂行せんとする事が、斯うして例は度と吾人の面如何に發展するか？ 將來唯一最大の目的であるが故前に於て繰返されてあり。は斯くなるであらうと結論に、而も之れが貫徹の第一手段として所謂地盤の開拓をなした、それは今茲に説き、述べたる如く現在の政黨の明する迄もなく地盤の狭小を其の政黨の消長に直接重大なる關係を有するが爲め、其の勢力即ち既成政黨の數を殖すべく企て、過般の總選舉に於ける得票は其の勢力分野を明かに裏書きしてゐる、有権者總數九百八十六萬票の八十五二萬票であつた。治思想が一般的に普及され、今日我が國の政界に無産黨が孤

從來政治は一部特權階級の支配下におかれて居た、即ち中間專制政治であつた。之れを歴史に求めて見れば明治維新前は中間勢力の爲に、主權者と臣民の間が大を圖り其の必然の結果として對抗政黨が常に自黨以外を對抗政黨を罵倒するに至る。漸次其の形態を強大にし、漸次其の主義政策の良否でない事は事實で、黨員自選舉が實施され、暗黒時代の幕が切り落されんとした。我が國の憲政史に新らしい一章を加へた處の普通我が國の政界に無産黨が孤

如何に進むか？ 共產黨が策を遂行せんとする事が、斯うして例は度と吾人の面如何に發展するか？ 將來唯一最大の目的であるが故前に於て繰返されてあり。は斯くなるであらうと結論に、而も之れが貫徹の第一手段として所謂地盤の開拓をなした、それは今茲に説き、述べたる如く現在の政黨の明する迄もなく地盤の狭小を其の政黨の消長に直接重大なる關係を有するが爲め、其の勢力即ち既成政黨の數を殖すべく企て、過般の總選舉に於ける得票は其の勢力分野を明かに裏書きしてゐる、有権者總數九百八十六萬票の八十五二萬票であつた。治思想が一般的に普及され、今日我が國の政界に無産黨が孤

第一章 既成政黨の過去と現在の勢力

從來政治は一部特權階級の支配下におかれて居た、即ち中間專制政治であつた。之れを歴史に求めて見れば明治維新前は中間勢力の爲に、主權者と臣民の間が大を圖り其の必然の結果として對抗政黨が常に自黨以外を對抗政黨を罵倒するに至る。漸次其の形態を強大にし、漸次其の主義政策の良否でない事は事實で、黨員自選舉が實施され、暗黒時代の幕が切り落されんとした。我が國の憲政史に新らしい一章を加へた處の普通我が國の政界に無産黨が孤

第二章 無産政黨の誕生

普通選舉の實施が從來の制な大衆が社會の經濟、政治の進出である、此の無産黨者の團結を要求してゐるの出現が普通實施に依る一つの收穫である。此の社會主義的思想的流の出來る、而も昭和三年四月に社會相を複雑なものとして來た全國各地に労働組

合が組織され、労働者對資 誕生直後の無産黨として、は 可成の得票であり、政治は 本家の闘争が間断なき迄に 勃發して大正三年度に於け 我が國の労働争議数が僅 五十件であつたのが、十 年後即ち大正十三年度には 二百三十三件と云ふ大きに 達する様になり、階級闘争 が益々熾烈さを加へて來た 従來の労働争議は労働者自 身の自然的發動から出さ 身の自然的發動から出さ 自認する労働運動者と自 稱する争議ブローカーやブ ンブルデニアの爲めに煽動 されて無益な争議を起した のも、中にあつた事であら う、而し最近に於ては斯う した弊害も漸次労働者の對 社會的覺醒に依つて、漸次 除去され經濟觀念階級意識 から出發して労働者がブル デニアと對抗すべく、自 然と頭を擡げて來つゝある 被雇者は雇傭者に對して 絕對服従する事が最大の美 徳である、讃へられて來 た、昔日のそれと比較して 被雇階級の反抗的運動に は大なる間隔のある事が解 であらう、斯の如く重大 なる思想界の混亂變革期に 恰度普通選挙の實施を見 見たので、經濟闘争に全力 を注いで居た大衆の力は政 治闘争に其の方向を轉換し 忽ち無産黨が誕生したの である。總選挙に於ける無 産黨の得票は四十七萬餘票 であつたから既成政黨の八 百五十二萬票と比すれば、 其處に大なる間隔はあるが

なる事を意味するものであ 合或は無政黨と密接な關 係を持つてゐる、一部智識 あると教へられ婦人も亦か の覺醒が社會に重大な變革 用如何にあることだぞ考へ きたい。ついでにもう一言 階級の婦人は思想的に見て 無産黨と同一視するべき立 良妻賢母型を造りあげたの 出來ない事で、將來必ず男 力で實施して現在どんな弊 害が起つてゐるか云ふこ 等もだいたい農村問題に頭を 第三章 將來に於ける婦 選の實施 我が國の政治史に新なる進 歩的一章を加へた處の普通 議員を智識階級の婦人が代 表の全部が此の主義に反抗 されるに至るものと想はれ 弊害が生じてはゐないか、 とも研究する價値が充分あ る。此の樹目取引に劣る 猶ほしてゐるが、こんなこ 等もだいたい農村問題に頭を 此の美風である處の主 義も其の存在を失ふ事にな 産黨が政權を得る時代が到 る、メイトル法がいくら へる、メイトル法がいくら 實地研究と、其の適 合の生活にも多少注意して頂 けり。肝心なことは實施後に 題の喧ましい今日、無産者

メイトル法と 貧乏人の生活

K 生 投

無産者の言ふことも聞いて 貰ひたい。 我々の生活に欠く可らざる 食糧品である米穀物に對し 社会に在つては、單に良い 制度だと云ふだけでそれだ の効果は直ぐ揚るといふ 事は斷言できない、良いも のでありながら實際に於て 失敗に終つた實例が澤山あ る。肝心なことは實施後に 題の喧ましい今日、無産者

養命酒 分 二一圓 平町五丁目 山野邊藥局 山野邊東次郎

マルクスの思想を繞りて (二)

高島素之

本編は政友會臨時政務調査會思想問題の對策に關する特別委員會に於て高島氏が説述せられた要旨であります...

ここで本論に返つて「マルクスの考へ方であるが、の立て方は、便宜上國家に簡單に言へば、すでに述べた如く、社會は各時代の經濟的必要に応じて變遷する...

に止めしめる爲めに一つの多きが故に、此の階級の手して國家は將來なくなることも單なる經濟關係に基いての奉還が行はねばならぬ改革を主張するのは、水と秩序を立てる必要がある。に政權をとることが比較的の主義の如く、經濟關係にはないから「マルクス」主義ては死刑を以て臨むことは明治維新のとき、一方に極力團體が即ち國家である。である云ふのであるが、基く労働階級が如き簡單な者の如く云ふのは誤である...

Advertisement for '高久病院' (Takaku Hospital) featuring various medical departments like 婦人科 (Gynecology), 外科 (Surgery), and 内科 (Internal Medicine), along with contact information and location details.

生きている 獄中への便り

暖い秋の日和だつた、私は書籍や雑誌、手紙などの整數年まへ、私はある××事に餘念がなかつた。

私の手に握られてゐる數通の未決監に收容されてゐた。私の手に握られてゐる數通り古いものであつたが、私にとつては懐しい文字だ。忘れ難い印象の深い親しみのある手紙であつた。

『石橋君！』の手に紙である。

あまり必要でないと思はれる書籍雑誌は屑屋に賣拂つた、そして手紙類は大部分破ぶいて屑籠に棄てしまつたが、石橋君の手紙と『さん』とは保存しておいた。棄てるには惜しい氣がしたからだ。

この二人の知人は、年月を違つてはゐたのであるが、石橋君は文學青年であつたし、『さん』は×××主義者であつた。お互に異つた思想の世界に生き、各々独自の性格者であつたが、私はなんのこだわりもなく交友し得た人達であつた。

私は石橋君いま何處にゐるか知らない、そして『さん』は昨今どうして居られるかこれも私には解らない。

石橋君よ、私達の青春時代であつたか、と云ふ私の願想をどうか赦してもらいた

して此の便りが貴兄の手に入るかどうか、貴兄の住所すらも解らない。若し御家族の方がこの『はかま』をお受けて下さりどうかT君の住所を知らして下さい。

私はいくど此の文句を繰返して讀んだらう。

私の感情はいつの間には静まつてゐた、そして淋しい追憶の微笑すら洩らされてゐたのである。

私は薄暗い四疊半の獄室のなかに坐りながら、あの頃湖畔の町に住んでゐた亭樂的な文學青年の群、夢遊病者のやうな時代の想ひ出に耽つてゐた。

あの頃が自分にとつては一番面白い、愉快な楽しい時代ではなかつたらうか。

代ではなかつたらうか。

暗翳の深き獄室に惱み悶きいる／＼な面影が私の頭腦に泛んで来た。

こんな自分の境遇——獄中——に在る——からはまるで夢れなかつた。

私は翌日、A市の石橋君へ手紙を出した、そして彼から返事のくる日を待つてゐた。

石橋君から亦た便りがあつた。

『やつぱり生きてゐたんだね。』

僕はいま異端的×××によく似通つたところのあつた。『どうして壹片のパンを求めると、そんな事はい

り、藝術至上主義を罵つたりした——貴兄の風格を想ひ出す——そしてM市のことや、湖畔のT町のことなど——。

僕は新聞記者の生活から一歩も踏出し得ないが、あの頃の氣持がその儘でこしる。

漂泊者松村省吾、藝術病患者石波星影、アル中患者神保愛治郎、それから貴兄がプロレタリア病で僕は戀愛病にとり憑かれてゐた。

症状は重態？ だね、どの患者の熱が高かつたか。

あのK市へ行く日、雪の朝、貴兄が『マント』を着て、

『では石橋君、俺は行くよ』と云つて湖畔の雪を踏み碎いて行つたときの姿を思ひ返ると、何故だか僕は涙ぐましい氣持になる。

あれ以來僕は貴兄に會はない。

貴兄がK市から×××新聞に寄せた『プロレタリアとロマンの地獄門』は僕達に深刻な刺激を與たものだ。

みんな、それ／＼歩いていつたね——松村は貴兄が去つてから『新しい村』へ行くと云ふていつてしまつた。彼は途中からこんな便りをよこした。

『どうして壹片のパンを求めると、そんな事はい

ま少しも考へない、否な考へることは苦しいからいやだ、

どうにかなるだろう、一晩や二晩、野原に暮らつて平氣だ、

放浪か、漂泊か、それはどつちだつていい、

俺は日月の下にふら／＼してゐる。

松村は『新しい村』にゐると思ふ。

石本は相變らず創作地獄に呻吟してゐたが、傑作も書かずに婦人雜誌社に入つてしまつた。

醉漢神保は、貴兄から手紙を貰つた日、ヒョッコリ訪ねて来た、そして一週間といふもの酒を飲みつゞけてゐる。

あの頃のサクルの唯もが——極めて自然に、個性、還憶によつて動いてゐるやうなきがする。

貴兄の今回の事件は始めて手紙で知つた。

どいらいことをやつたものだ——然し貴兄の性格は、何時かはこんな運命に見舞はれることだろうと思ふてゐた。

神保と僕は、また貴兄の古い手紙を出して讀んでみた。

『石橋君——君は墮落しちやあないか？ 君が求める悲痛な主観——それはなんだ、ブルジョアの亞流藝術でなくしてなんであらう』

貴兄の手紙にはさういふ文句がある、僕は無條件で肯定したい。

是非逢ひたい。』

孤獨な私は、この手紙にどんなに慰められたことか、日一度は必ず讀んだ。

湖畔の町にゐた頃の石橋君は、戀愛に夢中だつた、彼はK市にゐた私にこんな便りをしたこともあつた。

『T兄、僕はさう／＼今月S子と同棲してしまつた同棲して二人でビ／＼してゐる。』

兄よ、無産者の私達に同情して呉れ、

私達はキスと抱擁に疲れ

全我の愛——二人は幸福だよ。

私の未決監の生活はながくはなかつた、間もなく保釋になつて歸つた。

石橋君との音信はそれきり杜絶してしまつた、それからもう四年になる、湖畔のT町のことは、今の私には青春時代にみた夢である。

『夢みることでできないものは生きる方がない』

獨逸表現派の巨人であるスバルタカスの闘士トルラアは云ふてゐる。

私は幾多將來への夢をえがんでゐる。私はまだ生命力があるかも知れない、親愛なる石橋君はさうしてゐるだろう。

『やつぱり生きてゐたんだね』

私達は再びさう呼びかけるときかくるであらうか、そ

れが現はれないのが残念で仕方がない。

▽此の次には更らに紙面の體裁を替へて見る、よりよくする爲めに努力する事には幾分なりとも希望が持てる事だ。

▽青年同盟會の會員諸君の中で若し斯らして欲しいとの希望をお持ちなら遠慮なく言つて戴きたい

此の事は一般讀者の方にも同様願ひする。

編輯室より

▽今月は地方時事問題に筆を染めず論議文様のもので、みを集めて見た、然し出来ばいいは何時もの事だが自信を持ってない。

▽ものと内容のある續みばいにする新聞にしたいと努力してゐるのだが結果から見ると紙面の上にも同様願ひする。

良品廉賣に勝る商畧なし

警 城 平 町 五 丁 目

警 城 七 丁目 株式會社特約代理店

和洋鋼鐵

金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎

話 九 番 一 三 九 番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は(2)の生命なり

學生外套入荷

中 學 用	頭巾付	一一、〇〇
	同	一一、五〇
	同	一二、〇〇
	同	一二、五〇
	同	一三、〇〇
小 學 用	頭巾付	八、〇〇
	同	八、五〇
	同	九、〇〇

その他マント、オーバ、トロンビ豊富入荷

新製品着荷御案内

優美典雅な御大典記念時計が種々着荷されました

記念として永久的な御贈答品に最も良く値段も三圓より拾圓位迄です御散步の折柄是非御立寄御覽を願上ます。

院 主 敬 白

大谷時計病院

(電話一九番)

店服洋やかな

(三〇二電) 二 平